

地域の希少なエゴマを使ったエゴマ五平餅や、地域の食材を生かした手作りのおもてなしを目指して（道の駅アグリステーションなぐら）
名倉高原生産組合（設楽町）

事業者の概要

- 所在地：愛知県北設楽郡設楽町西納庫字森田32
- 任意団体：名倉高原生産組合
- 設立年：1998年7月
- URL：<https://aguristationnagura.jimdofree.com/>



経営の概要

- 【生産（1次）】 地元農産物等の生産、取扱
- 【加工（2次）】 エゴマ五平餅、手作りトマトジュース、トマト粕漬等多数
- 【販売（3次）】 道の駅アグリステーションなぐら「食堂、売店の運営」

取組の概要、特徴、強み

○ 地域の希少なエゴマの生産、加工、販売

地域の農家のお母さんたちが細々と守り続けてきたエゴマを再び地域内で生産・拡大し、その希少なエゴマを使ったエゴマ五平餅を道の駅で販売。



エゴマの栽培風景



乾燥中のエゴマ



一番人気のエゴマ五平餅

○ 地域の食材を生かした様々な手作り食品を加工、販売

地域の様々な困りごとに目を向けて新しい手作り食品を開発し、地域に価値を生み出している。



【トマト粕漬】

地域主産品の夏秋トマト(青トマト)と酒粕を使用。食堂や売店で販売。



【エゴマソフトクリーム】

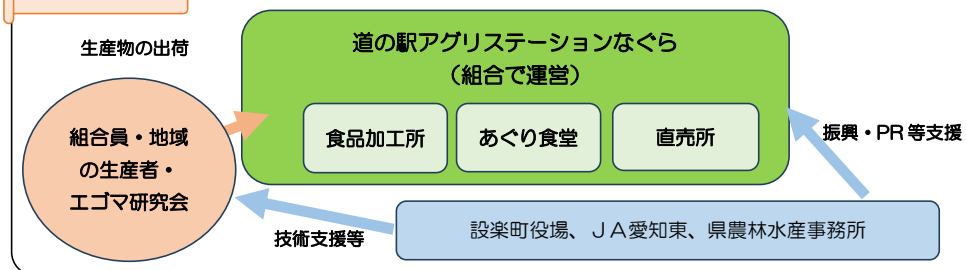
エゴマ風味のやさしい味を楽しめる。



【エゴマ味噌】【金山寺みそ】

手間を惜みず、一つ一つ丁寧に手作り。素材の良さを引き出している。優しくてほっとする味が魅力。

連携体制図



取組に至った経緯

- 1992年 道の駅設立の会 立ち上げ
- 1998年7月 名倉高原生産組合設立
- 1999年9月 道の駅 オープン
- 2015年 五平餅加工施設整備
- 2022年12月～2023年4月 改修工事
- 2023年4月 リニューアルオープン
- 2023年11月 漬物加工室整備



取組の成果

- 売上高：約1億4900万円（2019年度）
約1億4700万円（2024年度）
- 来客数：約18万人（2019年度）
約14万人（2024年度）

活用した支援施策

- 1998年度 山村振興等農林漁業特別対策事業
(アグリステーションなぐら整備) 1億3400万円
- 2019年度 愛知県山間地営農等振興事業
(五平餅成形機整備) 約2000万円

今後の展望

- ・さらに地元の食材を活かした手づくりの食堂メニューを充実し、来客者を増やしていきたい。
- ・五平餅を若い世代にも味わってもらうために、アピールしていきたい。

取組者のコメント

- ・過疎化の影響による農産物出荷や雇用者の確保が困難になってきています。来訪者にとって魅力のある農産物・加工品を提供していきます。

